

漢也一時下界を柔頓に托
かけ生中安念の清安の
あり事笑供板古云候
裁し付に此は道成来
に容易申配處を炊し
柔幸有謝はほろの
きまき有見付ぬ打角
・此是力に物せず 此際

松平伯の總裁権戴の
實現を見るに玉にけるは
如仰まことに余儀あり
次第に力候者
将来適當なる時程に
於て吾人の宿望に實現
せらる可致性の多分
ありは全く尊貴に
力の物に有り感謝措

有し小は全く尋常事と云
力の物と有し尚感附措
と独けきる 梁と云は附
件と云は仁事以後也
由之高配有仰きと云は
附
方内後久定又とり本
ニ轉し又ふの事等附也
趣と有義仕とは一に
尋常事との特別なる事
慮と物と有し有る事
中之事云々、各異儀と云
中始中後打ち中云々
の形と云は附有也

七月廿一日

喜一

市嶋亭書

後史